

このたび、前会長の佐川哲治先生の後任を仰せつかりました荒井利之と申します。何卒、宜しくお願ひ申し上げます。高等学校の書道教育を推進してきた歴史ある研究会の意義と精神を受け継ぎ、多くの皆様のご支援、ご協力を賜りながらさらに発展できるよう努めて参りますので、何卒ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

さて、平成30年3月30日に高等学校新学習指導要領が改訂され、今年度は周知・徹底の年度となりました。これから社会や職業の在り方そのものが大きく変わるとする中、我が国若者には伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持ち、自立した人間として、他人と協働しながら創造的に生きていくために必要な資質・能力、豊かな感性や優しさ、思いやり等が求められています。そのためにも学ぶことと社会と



風趣ある研究会を目指して

全日本高等学校書道教育研究会 会長

**荒井
利之**

のつながりを意識し、「何を教えるか」という知識の質・量の改善、「どのように学ぶが」という学びの質や深まりの重視、そして「どのような力が身に付いたか」という学びの成果に視点を置き、私たち教員一人一人が授業を見つめ直すことが必要であると思います。

このように学びを生徒、教員、学校にとって「何ができるようになるか」を「知識及び技能の習得」「思考力・判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱で再整理し明確化していくことが、今回の改訂の大きな趣旨と言えます。

この7月に高等学校新教育課程説明会(中央説明会)が東日本・西日本ブロックで開催され、私も川崎市より参加させて頂きました。全体会では社会の構造的変化に向けた今回の改訂の趣旨を多角的な視点から説明を頂きました。

以前、私も書道の授業づくりに行き詰まりを感じていた頃、この研究会へ何度も参加させていただきました。當時、研究授業をされた先生の書への深

全高書研会報

全日本高等学校
書道教育研究会

事務局
埼玉県立志木高等学校
〒353-0001
埼玉県志木市上宗岡1-1-1
山下 剛
TEL 048-473-8111
FAX 048-470-1061

出版部
三重県立亀山高等学校
〒519-0116
三重県亀山市本町1-10-1
竹嶋 秀聰
TEL 0595-83-4560
FAX 0595-83-4567

印刷
光出版印刷株式会社
〒515-0044
三重県松阪市久保町1885-1
TEL 0598-29-1234
FAX 0598-29-0265

い造詣、生徒たちへの熱い情熱に感動し、研究発表ではこれまで自分になかった視点や方法論に目の前が晴れる思いを幾度となく経験したことを思い出します。こんな先生に教えて貰える生徒たちは本当に幸せだなと思うと同時に、自分もあの先生のようになりたい!と強く決意し、新たな気持ちで新たな気持ちで教壇に立つものでした。

本研究会は、いつの時代も全国で書道教育に携わる私たち教員の道標であり、灯台であり続けることが大きな役割だと感じています。今年も11月15日(木)16日(金)に宮崎大会が開催されます。これから書道教育の可能性を求めて、大会役員の先生をはじめ多くの皆様が準備に当たられています。この宮崎大会はまさに変革期での開催となり、きっと大きな示唆を得られるものと確信しています。どうか皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。そして、全国の書道教育に携わる全ての先生方のご健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第四十三回全日本高等学校書道教育研究会が宮崎県で開催されるにあたり、日頃より書道教育に携わつておられる全国の先生方へ宮崎大会へのご案内をさせていただきます。

皆様におかれましてはそれぞれの勤務校における教科指導や部活動指導、書道系の進学希望者の受験指導など日々尽力される中、自己啓発や、生徒の実技向上上のための作品展の開催等、熱心な取り組みをしておられますことと存じます。優れた芸術・豊かな文化に触れさせ、生徒たちの個々の才能や特性を伸ばし、創造力に富む感性豊かな人材を育てることは、文化レベルの向上のみならず、生徒一人一人の人間としての豊かさや人格の厚みを増すためにも大いに役立つものです。

課題発見と解決力⑤チャレ
③自国理解と異文化理解④

工夫と共に考える機会にな

第四十三回全日本高等学校書道教育研究会が宮崎県で開催されるにあたり、日頃より書道教育に携わつておられる全国の先生方へ宮崎大会へのご案内をさせていただきます。

皆様におかれましてはそ

また、芸術・文化活動が充実することは、次世代に豊かな感受性を伝えていくためには重要なことであります。皆様方の日々の多岐にわたる取り組みに心より感謝申し上げ、今後一層のご活躍を祈念いたすところでござります。

さて、世界はインターネットの普及や全世界をつなぐ交通網の整備により、人、物、情報の国際的移動が活性化し、経済・政治・環境問題など様々な分野において、個人や国家・民族を超えて球的規模で物事を考えなければいけないグローバルな時代であります。必然的にグローバル化に対応できる人材が必要とされるようになります。①幅広い教養②コミュニケーション能力と語学力

ンジ精神とリーダーシップ、などの力をもち合わせた人材を育てることが求められるようになりました。このような時代背景の中、本大会では「書道教育の可能性を考える」自ら課題を発見し、自ら解決できる生徒の育成」をテーマとし開催いたします。

数千年の歴史を持つ東洋独自の伝統芸術である「書」。文字を素材とする世界に類を見ない表現芸術として脈々と育まられてきました。この「書」の伝統と文化について生徒たちが理解を深め、創造する意欲を高めることができるよう、また豊かな情操を養い、感性や想像力を働かせながら、考えたり判断したりできるよう、かなう生徒たちの資質や能力の育成を図るために奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願ひ申します。

おられる先生方、宮崎大会に奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願ひ申します。十一月の宮崎



第四十三回全日本高等学校書道教育研究会宮崎大会へのご案内

第四十三回全日本高等学校書道教育研究会 宮崎大会会長

(宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校長)

長津 和彦

ればと考えています。

大会が開催されます十一月十五日(木)十六日(金)

頃の宮崎は、晚秋でも過ご

しやすく、紅葉も楽しめる

とても良い季節です。宮崎

近郊では、鬼の洗濯岩に囲

まれた青島、綾の吊り橋と

照葉樹林、県南部には鶴戸

神宮、県西部の関之尾の滝、

県北まで足を延ばせば高千

穂峠、天岩戸神社など、こ

の機会にぜひ併せてお楽し

みいただければ幸いです。

今、宮崎大会担当者一同

は、少人数でありながら誠

にチームワークよく真摯に

準備に取り組んでおります。

全国の書道教育に携わって

おられる先生方、宮崎大会に奮ってご参加くださいま

すよう、よろしくお願ひ申

し上げます。十一月の宮崎

でお待ちしております。

入試・就職に有利！履歴書にも書ける資格！

文部科学省後援

硬筆・毛筆書写技能検定

●試験日

○平成30年度第2回 11月11日(日)
○平成30年度第3回 31年1月27日(日)

●試験地

○全国主要都市。10名で試験会場設置可

●受験料

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級
硬筆	6,500円	5,000円	3,500円	3,000円	2,500円	1,500円	1,200円	900円
毛筆	7,000円	5,500円	4,000円	3,400円	3,100円	1,700円	1,400円	1,000円

一般財団法人 日本書写技能検定協会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-41-3

TEL03(3988)3581(代)

FAX03(3988)3528

<http://www.nihon-shosha.or.jp>

第四十三回全高書研宮崎大会が、初めて本県で開催されることになりました。昨年度は、隣県の熊本で開催されましたので、開催地があまりにも近いのではないかというご指摘もあるかと思います。四年前に本部から本県での開催について検討してほしいと依頼を受け、受けるかどうか検討した結果、まだ本県での開催がないこと。今の時点で書道の専任が十五名いること(これは山形大会の規模にあたる)これから専任の数も減っていくのではないか。受けたとしたらいつ開催するのか。四年前は熊本大会まで決まっていてそれ以降はまだ決まっていませんでした。平成三十一年度には、本県で九州地区高文連大会が開催されることを考慮して宮崎大会は熊本大会に統一

授業研究テーマを「生徒的人材へと生徒を成長させるためにこのテーマを設定しました。このテーマのもとよく問題を解決していくける自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、より

主導的な学びを意識した授業」とを決定し本部にその旨を伝えました。そして、少しずつ手探りの状態で準備を進めてまいりました。

まず、テーマについて協議を重ねてきました。そして、最終的に決定したのが、「書道教育の可能性を考える」—自ら課題を発見し、自ら解決できる生徒の育成—でした。社会は、グローバル化と情報化が加速度的に進み、先々の予測が困難な状況にあります。そうした変化の激しい社会を担う子どもたちに必要な力を育むことは、すべての教育活動において急務となってきた。自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していくける

主導的な学びを意識した授業」として二名で担当することになりました。内容は、どちらも「漢字仮名交じりの書」で行います。二日目の分科会では、二つの柱を立てAの研究テーマを「漢字仮名交じりの書の効果的な指導法」とし二名の先生方が発表します。Bの研究テーマは、「生徒の主体的・協働的学びを引き出す効果的な指導法」として同じく二名の先生方が発表することになっています。また、併催展では、毎年開催している宮崎県高等学校席上揮毫大会の上位入賞作品を展示します。(本年度は、県内から三百名近い書道部員が参加して二時間半という年若山牧水と短歌の魅力」という演題で歌人で若山牧水記念文学館館長の伊藤一彦氏が講演されます。是非、楽しみにされてください。

全国から多くの皆様方が参加されますことを心からお待ちしています。



宮崎大会の成功に向けて

第四十三回全日本高等学校書道教育研究会宮崎大会運営委員長

湯地 和美

(宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校)

書道・国語専修 書道教育コース

幼・小・中・高校(書道)
現役教員採用合格

高等学校(書道・国語)と共に、幼稚園・小学校・中学校・学校図書館司書の教員免許状が取得できる。

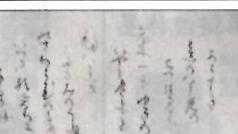
平成29年度教職就職率含む
99%
資格を取得して地元に就職

『改組新 第4回
(平成29年度)日辰』に
岐阜女子大学大学院生
初入選

大学院2年上山 恵里さん
「杜甫詩」行草書体・2×8尺

岐阜女子大学・大学院

〒501-2592 岐阜市太郎丸 80 番地



この度、全高書研宮崎大会で授業研究をさせていただくことになりました。

本校は、来年度創立一二〇周年を迎える伝統校です。平成二十二年に附属中学校



教諭 湯地 和美
宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校

A 生徒自ら課題を発見し、解決する魅力ある漢字仮名交じりの書

○生徒の自詠の短歌をもとに

芸術科の授業は、生徒は、音楽、美術、書道の三科目から選択して普通科は、一年時で二単位、二年時では、文系一単位、理系一単位、三年次では文一クラスで三単位を履修することができます。理数科は、一年時の二単位で終了です。

今回の授業研究は、書道Iでの「漢字仮名交じりの書」を発表します。本県では、平成二十七年から三年間の計画で「宮崎県伝統文化教材の研究・開発」に取り組んできました。ここで取り組んできたのが本県の歌人「若山牧水」でした。明治を代表する歌人です。この研究に携わるまでは、名前は知つてもどういう生き方をしてきた人物なのかほとんど知ることがありません

本校からは、霧島連山を臨むことができます。都城市の中心地にあり、本校からも、霧島連山を臨むことができます。

した。この三年間で牧水の生家を訪ねたり、若山牧水記念文学館でお話を伺い、牧水の書簡や資料を直に惹かれていました。高校書道部会でもこの二年間、授業で牧水の歌を書かせ、研究会では生徒の作品を持ち寄り、研究協議のなかで作品の作り方を深めていくことができました。また、本県では、若山牧水を顕彰して、毎年八月に日向市で高校生を対象にした「短歌甲子園」が開催されています。その高校生の作った歌が非常に新鮮で機知に富んで訴えてくるものがあるのです。いつのまにか私も短歌に魅了されていきました。「漢字仮名交じりの書」では、以前は生徒に好きな言葉を選ばせ書かせていましたが、ここ三年くらい前から、生徒に短歌を作らせています。三十一年のなかに自分の気持ちを込められる。最初は、生徒もな

かなか言葉が出てこず戸惑つていましたが、「牧水短歌甲子園」で高校生の作った短歌を鑑賞したり、国語科と連携しながら短歌作りを行いました。

授業の過程では、まず、若山牧水の歌を鑑賞しながら郷土の歌人牧水に触れさせることができました。つぎに、生徒に自詠の歌を作らせて作品を制作させ、最後に鑑賞会を行いました。

今回の授業研究では、前時に制作した作品を自由に鑑賞して他の生徒のよい点を生かし制作していく過程と最後にグループの代表者が全体の場で発表する過程を見ていきたいと思っています。

全国の先生方からご指導、ご助言をいただき、今後の指導に生かしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



絶え間ない研究の精華を放つ 豊彩潤沢の高級液体墨

書芸吳竹 天衣無縫 墨りおろし 生墨 きらきら光る曹道液 金のきらめき 銀のきらめき

株式会社 吳竹

Kuretake

Tel:0742.50.2050 FAX:0742.50.2070

先生方のアドバイスで進化していく特選書法一品

墨を科学して表現を広げる

〒630-8043 奈良市六条1-5-35

Tel:0742-52-0310 Fax:0742-45-6880

mail: info@boku-undo.co.jp

URL: http://www.boku-undo.co.jp/ 東京店・福岡(宮)

B漢字仮名交じりの書

「自國の文化を見つめる」

宮崎県立宮崎大宮高等学校
教諭 本田 淳也



共にバランスのとれた人間です。また「自主自立」、「稚心を去れ」、「質実剛健」を校是とし、大宮精神として校はこれまで脈々と受け継がれています。

現在、全校生徒は一一六一名で、一年生は普通科七学級、文科情報科二学級、二、三年生はそれぞれ普通科八学級、文科情報科二学級からなり、文科情報科では平成二十七年度から三十一年度までの五年間、SGH（スーパーグローバルハイスクール）の指定校を受けています。

本校の芸術科は、音楽・美術・書道の三科目からの選択必修であり、一年次にこの度、全高書研宮崎大会において、「生徒の主体的な学びを意識した授業」の授業研究テーマのもと、「漢字仮名交じりの書（自國の文化を見つめる）」で研究授業をさせていただきます。

本校は、宮崎市の中心部に位置し、一八八九年・明治二十二年に創設された、今年度創立一三〇年を迎える歴史の古い伝統校です。

本校の教育理念は、校歌にある「真理を探り、美にあこがれ、善を行う、心身な学びの質や深まりが重視されています。

今年三月、次期学習指導要領が公表されました。書道Ⅰではより一層、総合的な学びの質や深まりが重視されています。

そこで今回の授業研究は、書道Ⅰで行う漢字仮名交じりの書の中で自國の文化に目を向けた内容を取り上げます。理由として、書を愛好する心情を育てることはもちろんですが、自國の良さや特徴を再認識させ、書の可能性や言葉の力を一人一人に体感してほしいという願いがあるからです。

本单元では二人ペアの協働学習を通して次の視点で行います。
 ①自國の文化を知り、よさや特徴を味わい、キヤッチフレーズとしてまとめられます。
 ②PRポスターとしての視覚的効果を探り、書を効果的に表現することができる。
 ③協働学習や鑑賞会を通じて、自他を尊重する心情を持つ。



分科会

A漢字仮名交じり書の効果的な指導法

①「郷土の歌人若山牧水の短歌を生かした漢字仮名交じり書の制作」

宮崎県立延岡高等学校
教諭 木佐貫 弘志



この度、全高書研宮崎大会での分科会Aで「漢字仮名交じり書の効果的な指導法」という研究テーマのもと、「若山牧水の短歌を生かした漢字仮名交じり書の制作」というタイトルで発表させていただきました。

宮崎県の高校書道部会で

は、平成二十七年度より三年間にわたり、芸術教育総合支援事業として「宮崎県伝統文化教材の研究・開発」に取り組んできました。

次代を生きる子供たちが、故郷の豊かな文化資源を見つめ、育み、つなげることができるよう、音楽・美術・書道の各部会でそれぞれ三名が担当者となり、教材を作成しました。具体的には、本県の民謡や神楽、県ゆかりの画家の作品、郷土の歌人の詠んだ歌などを授業で利用できる教材として整理し、その活用法等を探るという内容となっています。

書道部会では、郷土の歌人若山牧水の短歌を題材とした漢字仮名交じり書に取り組むことになりました。牧水は自然に率直に向かい、故郷に寄せる思いやあこがれの心情を親しみやすい調べにのせた数々の名歌を残しております。現代を生きる高校生た上で、授業との関連から、次のようなねらいを設定し

ました。

表現という観点では、身近で親しみやすい短歌を題材とすることにより、生徒の主体的な活動を引き出し、表現の能力を高めたいと考えました。

鑑賞という点でみれば、牧水は自作の短歌を題材に多くの書を揮毫しています。歌の調べと一体化した書の表現に触ることにより、自らを取り巻く環境から書の美を発見し、深く味わってほしいという願いも込めました。

これまでの取り組みをまとめ、今後、資料として活用できるよう「牧水の歌を書く」と題するパワーポイントによる鑑賞教材を作成しました。今回の発表でその一部を紹介させていただく予定です。

また、その過程での、自らの勤務校での実践も報告させていただきたいと思います。牧水の歌を残す。生徒が牧水の歌を毛筆で表現しようと活動する中で、新たな発見や喜びを感じてくれた一方で、指導する側の表現で明らかになつてきました

部分も多くあります。

大きな舞台での発表は初めてで不安が大きいのです。が、またとない貴重な機会となります。全国の先生方からのご意見、ご指導をいただきながら、今後に活かしていくべきと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

②書道Ⅰにおける 漢字仮名交じりの 書の実践 ～「指導案の共有化」 に向けて～

大分県立大分舞鶴高等学校
教諭 佐藤 瞳



第四十三回全高書研宮崎大会の分科会A「書道Ⅰにおける漢字仮名交じりの書の実践」で発表させていただきました。

ます。今回は大分県高等学校教育研究会書道部会全体での取り組みを代表して発表させていただることになりました。これまで本県でも「漢字仮名交じりの書」において研究授業の実施や各自の取り組みや指導案を持ち寄り、代表指導案を決めて、夏季研修会での模擬授業に向けての寄つての研修を行つて来ました。しかし、人的配置の厳しさ、臨時・非常勤講師の研修の機会の不足等により、研修の深化や実践は個人に委ねられ、情報交換の場としての研修会に留まっていたような気がします。そこで、この宮崎での発表を好機と捉え、研修部を中心に、部会として全会員で取り組む体制を整えることにしました。

「主体的・対話的で深い学び」を得るための授業にICTの活用やアクティブラーニングなどの手法を取り入れながらの実践にむけて、「共通の指導案」を作成してきた取り組みの報告をいたします。

研修の経過につきましては、まず、意見が出やすいようにいくつかのグループに

分かれて、現在の課題を共有し、それを解決するための指導案の作成を行いました。各自の指導案を持ち寄り、その指導案についての説明・審査指導致案を決めて、夏季研修会での模擬授業に向けての検討と修正をしました。次に、その中から模擬授業を二グループが実施し、県全体で取り組めるひとつを選びました。

そこで私たちは「評価に有効な思考ツール」に焦点を当てた指導案を選択しました。そして、公開授業研究会で、模擬授業をもとに修正された指導案を利用して授業が行われ、さらに研究・協議を重ね、ひとつの指針となる指導案を作りました。

これを各自が持ち帰り、自分の学校で実施しました。実践例として発表させていただく大分県立大分舞鶴高等学校は、高いレベルの文武両道をめざす進学校です。1学年が普通科（七クラス）、理数科（一クラス）で、全校生徒は954名、ほぼ全員の

生徒が進学します。今回は一年次書道Iでの3学期の実践を報告いたします。大分県では同様の授業を各学校で創意工夫しながら実施いたしました。いくつかの実践例を会場で紹介したいと考えています。

そして、本年度も「主体的」「対話的」な学びを通して「深く」なる学習活動となつていいかを検証しながら二年目の取り組みを実施しているところです。

それぞれの抱えている課題は学校や生徒によつて異なることは当然ですが、書道を通じて生徒につけたい力や目指すところは同じです。また、指導者としての力量を高めていくためにも共に研鑽を積む必要性を感じています。

今回、このような場での発表の機会をいただいたことに感謝するとともに、研究協議では多くの先生方からのご指導・ご助言をいただき、今後の大分県の書道教育活動へのご支援を賜りますようお願いいたします。

B 生徒の主体的・共働的学びを引き出す効果的な指導法

①『感性を磨き、書への愛好心を育む書道教育』

→直感的鑑賞から表現へ→

宮崎県立日南高等学校

裕之

教諭 南



この度、全高書研宮崎大会の分科会B研究テーマ「生徒の主体的・共働的学びを引き出す効果的な指導法」といって表題で、「感性を磨き、書への愛好心を育む書道教育」直感的鑑賞から分析的鑑賞、そして表現へ」の実践報告をさせていていただきます。

本校は、宮崎県の南部にある日南市に位置し、春は桜の美しい竹香園に隣接している。本校の西には九州の小京都と言われる飫肥の武家屋敷の街並み、東には日南海岸国定公園の美しい海岸線など歴史と豊かな自然に囲まれ、観光資源に恵まれた土地です。一学年四クラス（普通科三クラス、探求科学コース一クラス）定員百六十名、全校で十三クラスの普通科高校で、二〇二〇年には創立一〇〇周年を迎える県南を代表する伝統校でもあります。

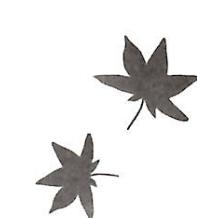
校是である「EXCELSIOR（より高く向上しよう）」のもと、①夢育む（学力向上）②友集つ（人間関係作り）③命輝く（自己実現）④地域と結ぶ（信頼される学校）を重点目標に教育活動を展開しています。

昨年度の進学実績は国公立大学三十五名、私立大学八十五名、短大・医療系専門学校二十八名で、県南の進学率は明るく素直で素朴な生徒が多く、与えられた課題に真摯に取り組む雰囲気を備えた生徒たちです。

本校の芸術科は、音楽・美術・書道の三科目が選択必修で、一年次に書道I（二単位×二クラス）、二年次に書道II（二単位×一クラス、一年次に書道I（二単位×二クラス）、三年次に書道III（二単位×一クラス）、週当たり一〇時間の授業が展開され、音楽と書道のみ専任教諭が担当しています。

今回の研究発表は昨年十一月に宮崎県教育研究会書道部会で発表したものに実践を追加したもので、今回の研究においては、高校書道の授業の比較的に初期段階において鑑賞を経験させる事を試みました。

なぜなら、古典の鑑賞や表現を通じて感性を磨き、書の見方・考え方を手に入れることが生活や社会において書との関わりを生み、書への愛好心を育み、生涯にわたつて書に関心を持ち、書と関わりながら豊かな生活を送る生徒を育てることに繋がるのです。



自分の直感で感じた古典の印象やイメージである「直感的鑑賞」が、「分析的鑑賞」の結果と関連している事に気づかせることが、書の見方やとらえ方を知ることに繋がり、以後学習していく様々な古典の臨書や創作活動に応用されて、引いては自分の意図する表現の気付きに繋がるのではないかと考え実践しました。

まだ初期段階の実践報告で、発展的な内容まで深められていませんが、今回発表の機会をいただきましたことに感謝し、研究協議では全国の先生方のご意見、ご鞭撻をいただき、今後の教育活動の活かしていきたいと考えております。よろしくお願い致します。

まだ初期段階の実践報告で、発展的な内容まで深められていませんが、今回発表の機会をいただきましたことに感謝し、研究協議では全国の先生方のご意見、ご鞭撻をいただき、今後の教育活動の活かしていきたいと考えております。よろしくお願い致します。

②「生徒が思考・表現することで理解を深める教科指導法の改善」

熊本県立玉名高等学校
教諭 仲原 幸代



いう、県下でも特色ある幅広い教育活動を展開する進学校です。本校の芸術科は、一年次に二単位が開講され、音楽・美術・書道三科からの選択必修で、三科とも1を付す科目のみが開設され、書道においては「書道I」のみとなっています。

これまでの私の授業は、古典の臨書活動と鑑賞活動を中心でした。一年間の学習において創作活動の割合は非常に少なく、指導においても不安があります。表現活動では、「どのように筆を動かしたらどのような線が表現されるか考えて書きましょう。」鑑賞活動では、「どこからそのように感じるのか、根拠をもつて自分の考えを伝えましょう。」など問い合わせています。思考・判断・表現を常に念頭において授業を開いていますが、「深まり」という点において、自分の授業はどうあるべきか、一度立ち止まって指導法を振り返りたいと思い、「生徒が

深める教科指導法の改善」というテーマを設定し実践をしました。

日頃から、いかに展開すればより生徒の考えが深まるのかを柱として授業展開を考えています。しかし、上手くいかないことが多い状況です。生徒の中には、「分からない」ともやもやしたものがたりながら作品を制作しなければならない状況になってしまいます。生徒はとりあえず筆を持つて線を書くなかで、墨の潤滑や文字の大小、線質などが目に「見え」てきます。その様な試行錯誤の過程の中で、理解が深まっていきます。

指導をいただきこれから活動に活かしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

- ・前年度事業報告と決算報告
- ・今年度事業計画と予算案審議
- ・岡山県高校生書道展と教員展について
- ・全高書研岡山大会のテーマ、研究授業者、分科会発表者、予算案、担当者役割等について意見交換
- ・高教研・高文連部会総会(五月十五日 ピュアリティまきび)



三、指導者講習会

(七月十五日 東洋額装株式会社)

広島県福山市にある東洋額装株式会社で、表装の仕方を学んだ。生徒の作品を裏打ちし、文化祭等で展示できる程度の技術を身につけるために、自分たちの小作品を持ち寄り裏打ちをした。本格的な裏打ちをしたことのある教員は少なく、霧ふき一つにしても苦労する場面もあった。実り多い技術講習会だった。

一、部会役員会 平成二十九年度活動報告

新らしい学びがあると考えます。

今回、全国の研究大会で発

△ 内容 △

事業報告・会計報告・事業計画案審議・予算案審議・全高書研岡山大会組織団並びに規約・予算等について協議

表させていただくという貴重な機会を大変ありがたく思っています。暗中模索の状況で取り組んだもので、拙い先生方から多くのご意見、ご指導をいただきこれから活動に活かしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

四、生徒講習会

(八月二十日 県立西大寺高校)

画像記・集王聖教序・蜀素帖などの課題を半切に臨書した。講師は数名の教員が担当し、太細さ造形はもとより、作品としてのまとめ方なども学習した。暑い日であったが、参加した生徒は頑張つて課題に取り組んでいた。

り、各校工夫をこらした見えた目に楽しい感じの展覧会となりた。平成三十年度は、岡山大会をにらみ、岡山らしいテーマを決めて作品展示をする予定にしている。

第四十二回**全日本高等学校書道教育研究会
熊本大会の総会・全体会の様子****編集後記**

六、岡山県高校生書道展
(十一月二十一日～二十六日)
岡山県天神山文化プラザ
約五十校が参加し、漢字・仮名・漢字仮名交じり書を中心に行展示があり、大きさも全紙・半切・小作品・巻子などバラエティーにとんだ内容となつた。共同作品もあ

五、全高書研岡山大会に向けた研究会
(十月十三日 ピュアリティまきび)
文部科学省 初等中等教育局教育課程課教科調査官 加藤泰弘先生をお招きして、私たちが岡山大会で発表する内容について検討、助言をいただいた。

最大限努力を重ねて、実りある大会を運営するように、暑さを乗り越えて頑張つてます。ぜひ、ご参加下さいま

すようお願い致します。



全高書研会報八十五号をお届けします。全高書研会長の荒井利之先生(川崎市立川崎総合科学高等学校校長)をはじめ、ご多忙極まりない中、ご執筆いただきました。先生方には深く感謝申し上げます。

本年7月には、昨年度の九州北部豪雨災害に引き続き、広島・岡山・愛媛を中心として豪雨による甚大な被害が出ており、現在も復旧活動が続けられています。この場をお借りして、心よりお見舞い申し上げます。

さて、本年度は、昨年度の火の国熊本に引き続き、同じ九州の南国宮崎において第43回全高書研宮崎大会が開催されます。大会準備に奔走されている先生方、授業研究や分科会で発表を控えた先生方など、この上ない慌ただしさかと推察いたします。

宮崎県の先生方におかれましては、2年以上も前から着々と準備を進めてこられたことから、きっと情熱溢れる素晴らしい大会になります。ぜひ、ご参加下さいま

(竹嶋)

大会日程

◇第1日目 11月15日(木) 会場:宮崎市民プラザ

9:30~	10:00~11:00	11:10~12:00	12:00~13:00	13:10~14:10	14:20~16:30	~17:00	18:30~20:30
受付	打ち合わせ 総会	開会式	昼食	情報交換会	授業研究 研究協議	企画展 等鑑賞	教育懇談会 (宮崎観光ホテル)

◇第2日目 11月16日(金) 会場:宮崎市民プラザ

8:30~	9:00~11:00	11:10~12:00	12:00~13:00	13:10~14:10	14:10~15:00
受付	分科会(研究発表) 研究協議	全体会・閉会式	昼食	講演会	企画展等鑑賞

授業研究・研究協議 11月15日(木)14:20~16:30

授業研究テーマ「生徒の主体的な学びを意識した授業」

A 「生徒自ら課題を発見し、解決する魅力ある漢字仮名交じりの書」

～生徒の自詠の短歌をもとに～ 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校教諭 湯地 和美

B 「漢字仮名交じりの書 ～自国の文化を見つめる～」

宮崎県立宮崎大宮高等学校教諭 本田 淳也

分科会(研究発表)・研究協議 11月16日(金)9:00~11:00

A 研究テーマ 「漢字仮名交じりの書の効果的な指導法」

①「郷土の歌人 若山牧水の短歌を生かした漢字仮名交じりの書の制作」

宮崎県立延岡高等学校教諭 木佐貫 弘志

②「指導案の共有化」に向けて

～書道Ⅰにおける漢字仮名交じりの書の授業実践～

大分県立大分舞鶴高等学校・大分商業高等学校兼務教諭 佐藤 隆

B 研究テーマ 「生徒の主体的・協働的学びを引き出す効果的な指導法」

①「感性を磨き、書への愛好心を育む書道教育」

～直感的鑑賞から分析的鑑賞、そして表現へ～

宮崎県立日南高等学校教諭 南 裕之

②「生徒が思考・表現することで理解を深める教科指導法の改善」

熊本県立玉名高等学校教諭 仲原 幸代

大会講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 豊口 和士 先生

情報交換会 11月15日(木) 13:10~14:10 宮崎市民プラザ

大会参加費 6,000円

教育懇談会 11月15日(木) 18:30~20:30

宮崎観光ホテル 宮崎市松山1-1-1 TEL0985-27-1212

会費 7,000円

(お問い合わせ先) 第43回全日本高等学校書道教育研究会 宮崎大会
 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校内 教諭 湯地 和美
 〒885-0033 都城市妻ヶ丘町27街区15号
 TEL0986-23-0223(代表) FAX0986-24-5884



第44回全日本高等学校書道教育研究会 岡山大会 ご案内 (第2次案内)

岡山大会テーマ

『SHINKA』

～書教育の新たな展開を目指して～

会期 平成31年11月14日(木)・15日(金)

会場 公立学校共済組合岡山宿泊所 ピュアリティまきび 岡山市北区下石井2-6-41 TEL 086-232-0511

日程

◇第1日目 11月14日(木)

9:30~	10:00~11:00	11:10~12:00	12:00~13:00	13:10~15:30	15:45~17:00	18:30~20:30
受付	打ち合わせ 総会	開会式	昼食	授業研究 研究協議	情報交換会	教育懇談会

◇第2日目 11月15日(金)

8:30~	9:00~11:00	11:10~12:00	12:00~13:00	13:10~
受付	分科会(研究発表) 研究協議	全体会 閉会式	昼食	・岡山県高校生書道展 ・講演会

《授業研究》 (1) 漢字の書一印との関連から生まれる新たな空間把握の取り組み

- (2) 仮名の書—他教科との連携を通して、生徒の感性に働きかける学習活動
- (3) 漢字仮名交じりの書—「間」を捉えて紙面構成力を向上させる表現活動

《研究発表》 (1) ICT活用からアプローチする生徒の主体的学習活動

- (2) 地域の文化から生徒の感性に働きかける学習活動
- (3) 鑑賞における主体的・対話的学びを引き出す学習活動

大会講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 豊口和士先生(予定)

情報交換会 11月14日(木)15:45~17:00 ピュアリティまきび

大会参加費 6,000円(予定)

教育懇談会 日時 11月14日(木)18:30~20:30 ホテルメルパルク岡山(予定)

会場 岡山市北区桑田町1-13 TEL 086-223-8101

会費 7,000円(予定)

講演会 講師 島谷弘幸先生(九州国立博物館長) 演題 未定

(お問い合わせ先) 第44回全日本高等学校書道研究大会 岡山大会
運営委員長 岡山県立岡山南高等学校教諭 平松 啓吾
〒700-0933 岡山市北区奥田2丁目4-7
TEL:086-224-2226 FAX:086-224-2229